

平成 19 年 9 月 25 日

日興コーディアル証券株式会社

日興コーディアル証券 2007 年 秋季部店長会議 (9 月 22 日)

北林幹生 (取締役社長) 発言要旨

要旨

現在、我々を取り巻く環境は、会社法の制定、金融商品取引法の施行、各国証券取引所のグローバルな連携、各国会計基準の収斂など、金融・資本市場、法制度のグローバル化が急速に進んでいる。また、日本の行・財政改革による郵政公社の民営化、道州制の検討など、日本の国際競争力の強化を目指した様々な施策が講じられようとしている。更に、日本は投資立国としての道を歩み始めている。

日興コーディアルグループとシティグループの資本・業務提携により、最高の総合的な金融ソリューション機能が揃ったと考える。私たちは、それぞれが持つ強みを上手に組み合わせ、お客様のあらゆる投資に積極的に対応し、“新しい時代への挑戦”としての成長戦略を実行し、日本の金融・資本市場の発展に貢献していきたいと考えている。

➤ 経営状況

- 今年度第一四半期には、資金導入、収益とも一気に回復傾向を示した。
- リテール部門での貯蓄から投資へのボリューム拡大の更なる取り込み、およびホールセール部門での利益拡大を図るために、
リテール部門では幅広い投資家層の獲得による営業基盤の拡大、ホールセール部門では収益の多様化、収益規模の拡大を目指す。

➤ “新しい時代への挑戦”

我々は、最も日本的で、最もグローバルな国内 No. 1 の金融サービス会社を実現するために、以下の5項目を実行していく。

1. ガバナンスの強化

公正で透明性の高い証券市場の確立に資するために、経営管理、リスク管理の高度化、コンプライアンス体制の強化を引き続き積極的に推進し、市場の仲介者としての自己規律の向上を図る。

2. グローバルな連携

我々の国内営業基盤と、シティグループのグローバルネットワークの組み合わせによる相互補完機能を高める。

3. あらゆる金融サービス機能の活用

日興コーディアル証券、日興シティグループ証券およびシティバンクの国内における連携強化を通じて、基盤拡大を図る。

4. 人材育成への注力

若手の育成、シティグループとの人材交流などを通じて、お客様を中心に考え、あらゆる投資に対応できる多様性や専門性のある人材育成に注力する。

5. 営業基盤の裾野拡大

新しい投資家、良質な資金の獲得に向けて、営業基盤の拡大を図る施策を検討する。

以 上

【ご参考：日興コーディアル証券 2007 年秋季部店長会議での発言要旨】

ダグラス・ピーターソン

シティグループ・ジャパン・ホールディングス 代表取締役兼最高経営責任者
株式会社日興コーディアルグループ 取締役会長

我々の提携の意義は、日興コーディアルグループとシティグループの業務が相互補完的であること、個人・法人向けの両業務においてこの日本市場には大きなチャンスがあること、この2点に集約される。

これらの状況および環境の中で強い意志を持って提携を進めていくことで、我々は、国内屈指の銀行・証券を併せ持つ包括的金融グループを作り上げることができる。

日本におけるビジョン：

- ・ 先ず何を置いても、お客様を大切にすること、常にお客様の立場に立ち考え行動すること。
- ・ 両社の各事業・業務の中から最も優れた機能や考え方をグループ全体に取り込み、効率性を高めていく。
- ・ 最も適した経営管理態勢、コンプライアンス態勢を基盤にしながら、両社が足並みをそろえて事業・業務を運営していく。
- ・ シティのグローバルなネットワークを活かす。
- ・ 日本により深く根ざし、日本の文化および商慣習を尊重しながら、サービスおよび商品を提供する。

5月以降、我々の提携が生み出す価値を最大限引き出すことを目的に、様々なチームを立ち上げた。両社の事業部門、業務部門、サポート部門から 200 人を超える経営陣や管理職などに就く従業員がビジョンを達成するために素晴らしいチームワークを発揮している。

日本屈指の包括的銀行・証券グループを作り上げるという目標に向かって一丸となって努力していこう。

我々の前には明るい将来が待っている、また、今後もこうしたビジョンを達成するためのチームワークを発揮しつづけていただきたい。

【ご参考：日興コーディアル証券 2007 年秋季部店長会議での発言要旨】

桑島正治

株式会社日興コーディアルグループ 取締役兼代表執行役社長

先日発表した第 2 四半期の業績予想では、連結の経常利益および当期利益は、前年同期比でそれぞれ約 40 億円および約 50 億円の増益に転じる見込みです。また、昨年末以降、一時下げていた日興コーディアルグループの格付けも、各社の見直しが行われ、例えばムーディーズで 7 ノッチ上昇という同業他社と比較して非常に高い格付けを得ており、金融サービス会社として高い信頼の証しと捉えている。

“ わが国 No. 1 の包括的金融サービスグループの構築 ”

シティグループと日興コーディアルグループの日本におけるビジョンは全く同じです。同じ目標を持ち、お客様へ卓越した品質のサービス、商品を提供する。

日興コーディアルグループのビジョン：

- ・ お客様第一主義。
- ・ 従業員の成長と活躍の場の提供。国内 No.1 となるために、最も大切なものと考えている。活躍の場の提供を目的に研修を更に充実させる。
- ・ 様々な事業・業務のうち、最も優れた組み合わせによる事業展開。
- ・ 経営管理態勢およびコンプライアンス態勢を整備したうえでの、日本における足並みの揃ったビジネス展開の実現。
- ・ グローバルに連携しつつも、日本でビジネス判断を行うことによる、社会からの信頼の獲得。
- ・ 日本において受け入れられるビジネスを実現するためにも、日本の文化および事業慣行を尊重した、日本の社会に根付いた新しいビジネスモデルの構築。

ビジョンの実現のために不可欠なものとして、役社員共通の理念・規範が挙げられる。私たちは、経営理念を行動規範として具体化した、行動規範のしおり (code of conduct) を作成した。この行動規範は、経営理念とともに、グループ各社の共通規範として位置づけている。当社グループの役社員は、この行動規範に基づき、一丸となって、コンプライアンスを重視する企業風土の醸成に不断の努力を行い、その実践によって企業価値を創造し社会に貢献し、当社グループの社会的な責任を果していかなければならない。

ビジョンの実現のためには、包括的戦略提携等に基づき、当社グループの事業分野の見直しと再構築を改めて進めるとともに、シティグループとのシナジーを極限まで追求していく。

シナジーを高めていくために、どのような経営環境の変化、展開にも対応できる経営の柔軟性を確保するとともに、有効な経営資源の配分を行う。

当社グループ事業を成功に導く鍵は、事業の中心となる日興コーディアル証券で働くひとりひとりの力にかかっている。日本における日興ブランドをますます拡大させるためにも時代が何を求めているのかをよく見極めながら、日本で No.1 の金融サービス会社になるという夢と一緒に実現させていきましょう。